平成14年度全国高校総合体育大会第55回全国高等学校バスケットボール選手権大会

平成14年　8　月　3　日　（土）

会場　　日立第二高等学校体育館

【女子の部】　　第　2　日目　　Gコート　　第　2　試合

チームA			チームB
昭和学院	88	20 1Q 24 26 2Q 11 15 3Q 14 27 4Q 28 OT	77	岐阜女子
千　葉				岐　阜

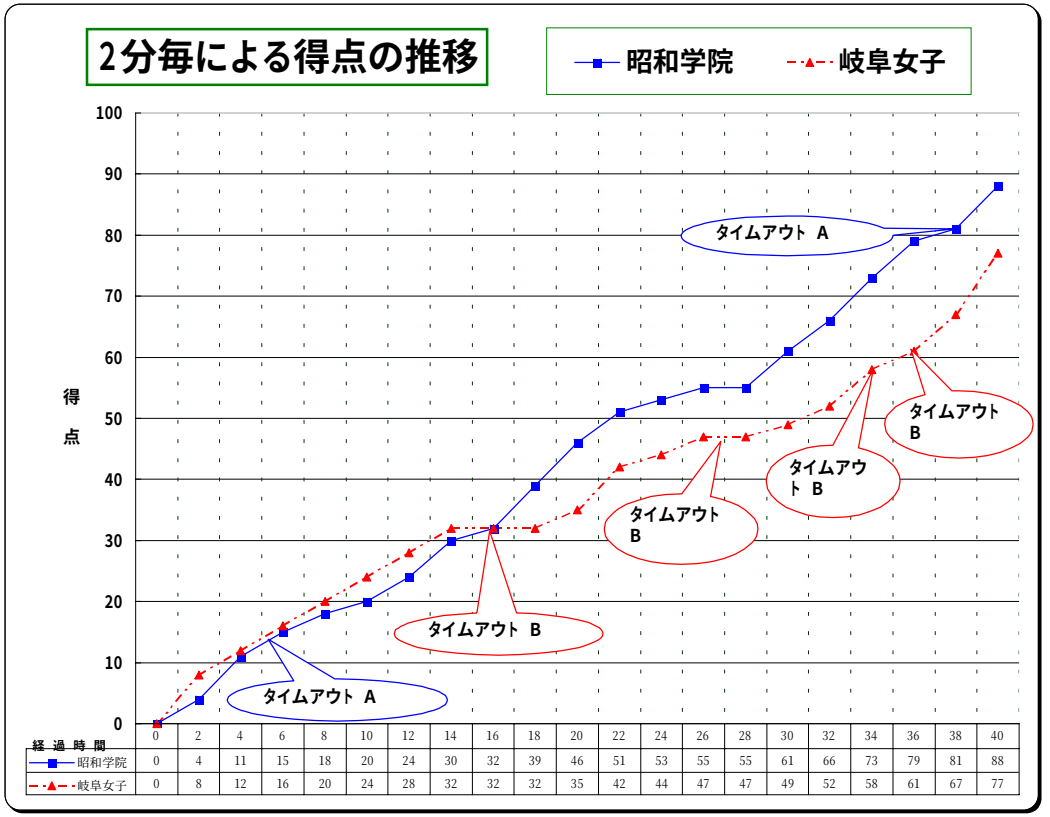
昭和学院

	番号	氏　名	得点	3P 成功	3P 試行	2P 成功	2P 試行	1P 成功	1P 試行	反則	リバウンド OF	リバウンド DF	ターンオーバー	スチール	アシスト	ブロックショット	出場時間 単位:分
◎	4	南田　彩花	4	0	4	1	10	2	2	1	0	3	3	5	5	0	40
	5	信田　真澄	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	6	馬場麻紗美	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	7	増田　莉沙	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
◎	8	野村　由希	26	0	2	12	21	2	3	0	4	1	3	5	0	1	40
○	9	浦邉かおり	16	4	7	2	7	0	0	1	0	3	2	1	3	0	29
◎	10	鈴木麻友美	24	3	4	7	8	1	1	2	6	3	1	2	1	2	40
◎	11	伊藤　奈月	2	0	0	2	4	0	0	3	1	1	0	0	0	0	11
◎	12	原田　綾子	16	0	0	7	20	2	3	4	2	1	8	1	0	0	40
	13	登藤　香織	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
	14	上野　貴代	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	15	岡野佳麻里	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	コーチ	鈴木　親光								0							
			88	7	17	31	70	7	9	11	13	12	17	14	9	3	200
		確率		41.2%		44.3%		77.8%			計	25					

岐阜女子

	番号	氏　名	得点	3P 成功	3P 試行	2P 成功	2P 試行	1P 成功	1P 試行	反則	リバウンド OF	リバウンド DF	ターンオーバー	スチール	アシスト	ブロックショット	出場時間 単位:分
◎	4	横山　　愛	17	0	0	8	14	1	2	2	5	5	2	2	1	3	40
◎	5	永田　志穂	17	4	7	2	3	1	2	2	0	1	2	0	1	3	33
○	6	斎藤　順子	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
◎	7	梅　　佳潔	20	1	4	7	11	3	3	4	0	4	8	3	8	1	34
◎	8	藤城真理子	10	2	5	1	7	2	2	3	0	32	9	2	4	0	37
○	9	深津あゆ美	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7
	10	井川妃沙乃	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
◎	11	石川　愛佳	8	1	1	2	8	1	2	1	0	2	0	1	0	1	25
	12	早見　麻由	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
○	13	希	0	0	0	0	0	0	0	2	0	1	1	0	0	0	6
○	14	梅田　磨乃	5	1	3	1	2	0	0	0	0	0	1	0	1	0	14
○	15	宮元美智子	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	コーチ	安江　満夫								0							
			77	9	20	21	46	8	11	14	5	45	23	8	15	8	200
		確率		45.0%		45.7%		72.7%			計	50					

2分毎による得点の推移



戦評

第1Pは序盤から点の取り合いとなった。昭和は＃10鈴木のドライブや＃12原田の高さを活かしたゴール下で得点する。一方、岐阜は＃8藤代のパスを起点に＃4横山のインサイド、＃7梅の1対1で対抗し、20対24岐阜4点リードで第1Pを終了した。

第2P、出だしは互角の展開。しかし4分過ぎに昭和が同点に追いついてからは完全に昭和ペースとなる。＃8野村の速攻や＃12原田のゴール下など、タイムアウトを挟んで怒涛の連続14得点で一気に差を広げ、46対35昭和11点リードで第2Pを終了した。

第3P、岐阜はオールコートマンツーマンに変え流れを引き戻そうとする。しかし、昭和＃8野村、＃10鈴木のアウトサイドシュートが効果的に決まり差を縮めることができない。結局、61対49昭和リードで第3P終了。

第4Pに入り、昭和のシュートが好調で18点差まで点差が広がる。しかしここから岐阜が捨て身の反撃に転じ、＃4横山、＃7梅らの活躍で一気に7点差まで詰め寄る。しかし、ここで昭和は受け身にならず、＃10鈴木の積極的なドライブで加点し、粘る岐阜を88対77で振り切った。昭和の高確率で決まるシュート力と岐阜の最後まであきらめない粘り強さが特に印象に残った、すばらしい試合であった。両チームの選手に賞讃の言葉を送りたい。

主審	永谷　美穂

副審	岩尾　圭治

記入者	中山　徹也